

紀伊風土記の丘・和歌山城自然観察会

日時：2022 年（令和 4 年）6 月 24 日（金）晴れ

集合時間・場所：JR 和歌山駅東口 9：45 集合

参加者：18 名

行程：JR 和歌山駅東口⇒（バス）⇒紀伊風土記の丘

（ガイドさんによるツアーガイドと万葉植物園の植

物観察）・昼食・打合せ⇒（タクシー）⇒和歌山城

（天守閣コースと紅葉溪庭園コースに分れ観察）

⇒わかやま歴史館前 15 時解散

作成者：石川正樹

紀伊風土記の丘にて



集合場所



古墳時代のクスノキの巨木



班に分かれ観察会開始（岩橋千塚古墳群）



◆岩橋型横穴式石室
岩橋千塚古墳群の石室は、地元の石材である緑色片岩を積んで造られています。横穴式石室には通常、埋葬用の部屋（玄室）と通路（羨道）がありますが、岩橋型横穴式石室では玄室と羨道の間を少し狭くして、扉石を立てかけてふさぐ構造をしているのが特徴です。この狭くなった部分を玄室前道あるいは通廊と呼んでおり、その床には大きな石（玄室前道基石）を置きます。また、石室内に石櫓や石梁と呼ばれる石材を使用するのも岩橋千塚の特徴です。全国の石櫓のある古墳の約半数は岩橋千塚に集中しており、石梁はこの古墳群にしか認められない特徴となっています。石櫓・石梁の使用目的は石室を強固にするための補強材とも考えられ、將軍塚古墳では約4.3m、天王塚古墳では約5.9mと非常に天井の高い石室が造られています。



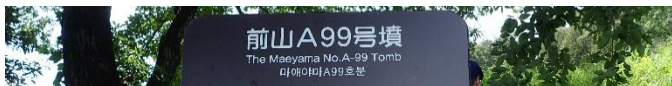


前山 A46 号古墳（横穴式石室：被葬者は朝鮮半島とつながりのある人物）に入る



前山 A58 号墳





展望所：紀ノ川、和泉山脈を望む



●万葉植物園内の植物案内

●万葉集に見られる植物と、詠われている歌の数

古名（現代名）	歌の数	古名（現代名）	歌の数
はぎ（ヤマハギ）	142首	たえ・たく・ゆふ（コウソ）	139首
もみぢ（モミジ）	137首	うめ（ウメ）	119首
めばたま（ヒオウキ）	81首	まつ（アカマツ・クロマツ）	78首
たちばな（コミカン）	69首	いね（イネ）	61首
あし（よし）	52首	すげ・すが（スゲ）	48首
かや・すすき・おばな（ススキ）	45首	さくら（ヤマザクラ）	44首
やなぎ（シダレヤナギ・ネコヤナギ）	40首	ち・あさち・ちがや・つばな（チガヤ）	27首
なでしこ（カワラナデシコ）	26首	ふぢ（フジ）	26首
うのはな（ウツギ）	23首	たけ（マダケ）	20首
くす（クス）	19首	やまぶき（ヤマブキ）	18首
むらさき（ムラサキ）	17首	おみなえし（オミナエシ）	14首
あかね（アカネ）	13首	すぎ（スギ）	12首



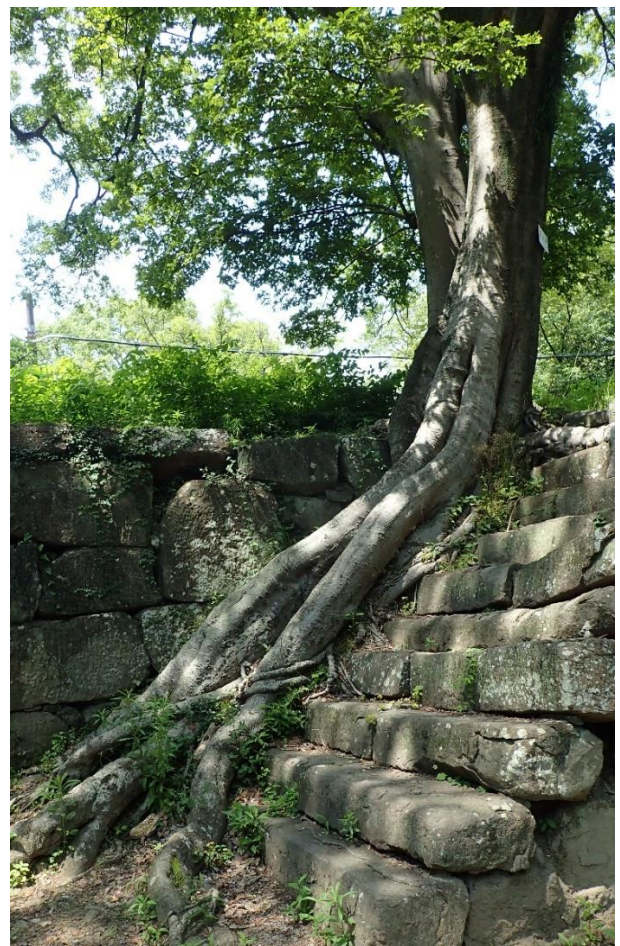
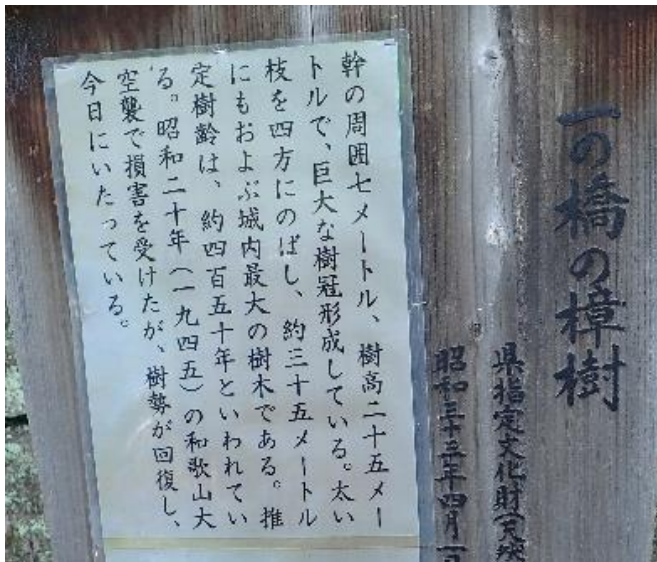


万葉植物園にある展望台



和歌山城
一の橋と大手門





城にまつわるクイズ

和歌山城



毬と殿様の歌碑





天守閣からの展望 紀ノ川河口 新日鉄住金



二の丸広場



紅葉溪庭園入口



わかやま歴史館前で終了・お疲れ様でした。解散

